

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	観光地域づくりと景観整備
事業主体 (連絡先)	公益財団法人妻籠を愛する会 (南木曽町吾妻2159-2 TEL: 57-3513)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地域づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	3,838,670円 (うち支援金: 2,672,000円)

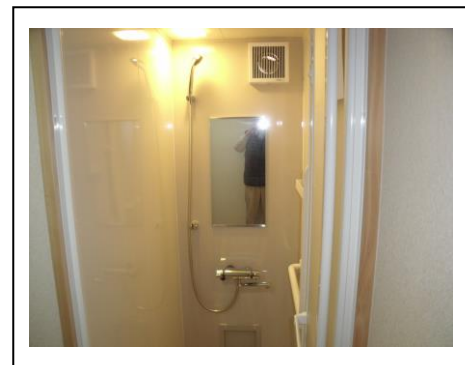
事業内容

- 観光客の満足度の向上

馬籠峠を歩いて妻籠宿を訪れるインバウンドハイカーのために汗を流してさっぱりとしてから妻籠宿の散策をしていただくための第1段階として、当会が所有する民家「まつや」にシャワールームを設置した。

- 妻籠宿の景観整備

宿場内の巨木の樹高整理と枝払いにより、倒木防止と景観保全を図った。また、伐倒木を地域住民の協働により一石栃立場茶屋へ運び、茶屋で活用する薪を大量に作る事ができた。



【シャワールーム】

【目標・ねらい】

- おもてなしの質の向上
(日頃の観光・中山道ハイカー)
- 妻籠宿の景観整備
- 馬籠峠の快適ハイク
(無料休憩所一石栃立場茶屋の整備)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

ハイカーのためのシャワールーム設置と支障木伐採により、観光客が安心して散策できる環境づくりができた。

今年度は新型コロナウイルスの影響で大幅に観光客が減少したが、来年度への地固めができた。

馬籠峠のハイカー人数 (うち外国人)
令和元年6月～2年2月 37,363人 (26,894人)
令和2年6月～3年2月 10,065人 (996人)
前年比 27% (4%)

※自己評価【A】

【理由】

シャワールームと支障木伐採により、妻籠宿を訪れる観光客へのおもてなしの質の向上を図ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

妻籠宿の中央に位置する「まつや」にシャワールームを設置、また南北入口の巨木の枝払いを行い、環境・景観は整備された。今年度は新型コロナウイルスの影響で観光客が大幅減となってしまったが、次年度以降も気持ちよく散策できる環境づくりに努めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある